

公益財団法人 萬田記念財団は、医学を中心とする研究・教育活動の支援・貢献、芸術分野への支援・貢献、社会福祉への支援を行うことにより、生命の安全を守る医療、社会福祉および情操の涵養を促す芸術の振興・向上を目的とする公益財団法人です。事業のひとつとして平成25年度から北海道の音楽文化の担い手である札幌交響楽団の道内公演の開催を支援しています。

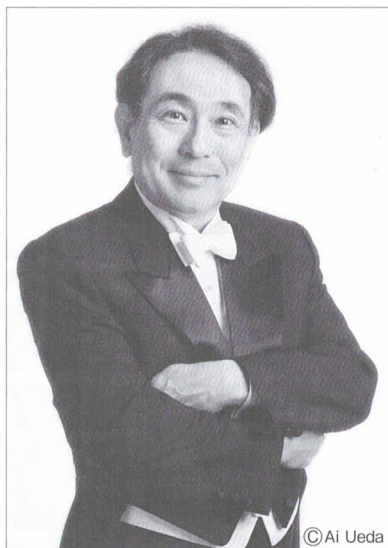
(札幌道内公演支援実績)



令和5年度 歌志内公演 (指揮: 松本宗利音)



令和4年度 占冠公演 (指揮: 米田寛士)



© Ai Ueda

指揮/山下一史

Kazufumi YAMASHITA, conductor

Profile

1977年桐朋学園高校音楽科に入学。チェロを井上頼豊氏に、指揮を尾高忠明、小澤征爾、秋山和慶、森正の各氏に師事。1984年桐朋学園大学を卒業後、ベルリン芸術大学に留学、1986年ニコライ・マルコ国際指揮者コンクールで優勝。カラヤンが亡くなるまで彼のアシスタントを務める。

以後ヨーロッパでの実績を重ね、ヘルシンボリ響首席客演指揮者を務めた。日本国内ではN響を指揮してデビューし札幌とも1987年に初共演、以後札幌はもとより全国の主要オーケストラに定期的に出演、好評を得ている。これまでにオーケストラ・アンサンブル金沢プリンシパル・ゲスト・コンダクター、九響常任指揮者、大阪音大ザ・カレッジ・オペラハウス管常任指揮者ならびに同団名誉指揮者、仙台フィル指揮者ならびに同団正指揮者を歴任。

2016年4月より千葉交響楽団音楽監督に就任。「おらがまちのオーケストラ」をスローガンに、定期公演のみならず、音楽教室にも積極的に出演、オーケストラの一層の発展に努めている。2022年4月には、愛知室内オーケストラ音楽監督、大阪交響楽団常任指揮者に就任。また、東京藝術大学音楽学部指揮科教授として後進の育成にも心血を注ぐ。

管弦楽/札幌交響楽団

Sapporo Symphony Orchestra

1961年発足、「札幌」の愛称で親しまれ、2021年に60周年を迎えた。透明感のあるサウンドとパワフルな表現力は雄大な北海道にふさわしいオーケストラとして広く知られる。歴代指揮者は名誉創立指揮者の荒谷正雄、ペーター・シュヴァルツ、岩城宏之、秋山和慶、尾高忠明、マックス・ボンマー、ラドミル・エリシュカ、マティアス・バーメルトなどが務め、現在は名誉音楽監督 尾高忠明、友情指揮者 広上淳一、首席客演指揮者 下野竜也、正指揮者 川瀬賢太郎を擁する。2名のコンサートマスターを含む75名の楽団員が在籍。札幌を拠点に北海道内全域をフィールドとして年間約120回のオーケストラ・コンサートを行うほか、積極的に地域活動に参加し、小編成での教育福祉活動を展開している。中富良野町での公演は、同町開基100年の1995年以来今回が2回目となる。



© Yasuo Fujii

公式ホームページ

<https://www.sso.or.jp>

